

文化センター圏域 自主防災連絡会

地震や台風、多摩川の氾濫などにより、大規模な災害が発生すると被害が広範囲にわたるため、救出・救助をはじめとする行政の支援「公助」を全ての被災者に直ちに届けることは困難となります。

このため、自分や家族を守るための備えや行動「自助」と、ご近所や地域が協力して自分達のまちを守る「共助」を推進して災害に強いまちを作ることが防災対策には求められます。

自主防災連絡会は、この「自助」「共助」を活動の理念として、災害発生時はもちろん、平常時から地域が一体となって防災活動を推進する自治会・町会を主体とした組織です。

自主防災 連絡会の 目指すべき姿

自助
圏域内の住民一人ひとりが、災害から「命を守る」ための備えができています。

共助
近隣住民がお互いに助け合う関係が築けている。

公助
圏域の特性に合った防災活動の支援を実施している。

押立文化センター圏域 押立防災フェスタ

押立文化センター圏域自主防災連絡会では、子どもや親子が楽しみながら防災について学べる「押立防災フェスタ」を開催しました。

また、ペットとの同行避難を考えるペット防災セミナーを実施しました。



押立は多摩川の浸水想定区域
ペットとの同行避難は飼い主の皆さんにとっては、とても大事な防災対策です。



子ども達は防災カードゲームで楽しみながら防災について学びました。

学校(防災拠点)を中心とした地域防災活動にも協力しています

10月28日(土) / 南町小学校地域防災訓練



避難所の防災資機材を確認しながら、改めて地域や家庭内で何を備えるべきかを考える機会となりました。



子ども達は事前学習で防災について学び、その成果を会場で発表したり、パネルに展示したりしました。

住吉圏域

訓練では、参加者は受け身ではなく、地域が中心となって自分たちが避難所を運営するというテーマに基づき実施しました。中学生ボランティアも積極的に協力してくれました。



12月16日(土) / 府中第二小学校夜間防災訓練



夜間の訓練は何といても照明の確保が最優先です。明かりが確保できれば周囲の安全性と安心感が高まります。



中央圏域

夜間に地震が発生したことを想定した避難所の開設訓練を実施しました。参加者は各々がヘッドライトや懐中電灯を装備して準備万端で挑みました。



避難所(体育館)に整備された非常用発電装置を起動して照明を点灯させました。これにより避難所での作業効率が格段にアップしました。

今後も各文化センター圏域の自主防災活動を紹介していきます。

住吉文化センター& 武蔵台文化センター圏域



応急給水訓練

市内に4か所ある給水所・浄水所のうち、南町給水所と武蔵台浄水所において東京都水道局の指導のもと応急給水訓練を実施しました。

給水活動の流れや給水資機材の組み立て方について説明があり、参加者の中には給水袋を持参して、水を入れて重さを実感しながら自宅に持ち帰る方もいました。



防災まち歩き(武蔵台)



府中市社会福祉協議会が主催する防災まち歩きに参加しました。

防災の視点で自分たちの「まち」を見直すことにより、新たな発見や防災に関する地域の強み・弱みを確認することができました。

四谷文化センター圏域

避難所開設訓練



参加者全員で防災倉庫に入っている資機材や非常食の確認を行いました。

四谷文化センター圏域自主防災連絡会では、日新小学校において四谷文化センター圏域コミュニティ協議会と共催で、地震を想定した避難所開設訓練を実施しました。



防災倉庫内の資機材を実際に使って避難所の開設を行いました。



車いす利用者が避難所を体験
車いすの方が避難所で生活できるよう
ご意見を伺って避難所運営に役立てます。